

講義名称	基礎演習Ⅱ	担当教員名	李 元重
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	基礎演習 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	REQ112

授業のキーワード	キリスト教、歴史、日本の社会と文化
授業の概要	論理的思考を深め、キリスト教と日本の歴史及び文化に関する著作と一緒に読み、議論します。特にレポートを書く能力を身につけるために、自分が決めたテーマについて中間発表をしながら期末レポートを完成します。
期待される学習成果 (目標)	1. 論理的思考力を磨き、自分の主張をレポート・論文として表現する。 2. キリスト教に対する理解を深める。 3. 近代日本の歴史に対する理解を深める。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概要、進行方法、評価などについて説明します。
2	レポート・論文の書き方1	『大学生のためのレポート・論文の書き方』1章と2章を勉強します。
3	レポート・論文の書き方2	同書、3～5章を勉強します。
4	レポート・論文の書き方3	同書、6～7章を勉強します。
5	期末レポートの中間発表1	各自が決めたレポートのテーマを紹介し、話し合います。
6	キリスト教理解1	キリスト教のおいてのイエスを詳しく学びます。
7	キリスト教理解2	同上
8	キリスト教理解3	新約聖書「マルコによる福音書」を読んで話し合います。
9	キリスト教理解4	同上
10	歴史へのアプローチ1	『戦時期日本の精神史』第1回～第4回を読み、話し合います。
11	期末レポートの中間発表2	各自が書いたレポートを発表し話し合います。
12	歴史へのアプローチ2	同書、第5回～第8回を読み、話し合います。
13	歴史へのアプローチ3	同書、第9回～第13回を読み、話し合います。
14	合同ゼミ	2年生の時に所属するゼミ紹介
15	まとめ	学んだ内容を整理し、期末レポートについて話し合います。

定期試験	定期試験は行いません。
授業時間外学習	事前に課題の資料を読みます。発表者は発表の準備をします。自ら選んだテーマに対する資料を読みレポートを準備します。
評価方法	①授業への積極的な参加、発表、期末レポートの中間報告(50%), ②期末レポート(50%)
使用する教科書(必ず購入してください)	石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2011年。鶴見俊輔『戦時期日本の精神史：1931～1945年』岩波書店、1982年。日本聖書協会『聖書：新共同訳』
参考文献	アリストター E. マクグラス著『総説キリスト教—はじめての人のためのキリスト教ガイド』キリスト教新聞社、2008年。嶺重淑『キリスト教入門：歴史・人物・文学』日本キリスト教団出版局、2011年。